

四季の風

2016
秋号
Vol.46

長崎1泊旅行

島原城

雲仙地獄めぐり



今年の1泊旅行は、長崎県に行ってきました。

ここ数年、6月に実施していたこともあり、天候に恵まれませんでした。今年は9月に実施したことと、利用者の日頃の行いが良かった！?(笑)こともあり、雨にあうこともなく、2日間を満喫することができました。

1日は長崎市内を観光、昼食は長崎名物ちゃんぽんを堪能しました。早くも名物のカステラ等、両手いっぱいにお土産を購入している方もいました。その後は、路面電車を貸し切っでの移動、短い間でしたが、「久しぶりに乗った」等の喜びの声も聞かれました。

そして、島原方面の宿泊先へ移動。ホテル近くの地獄散策をしたり、温泉に2回以上入ったり・・・と普段とは違う夜を楽しみました。

2日は島原市内を観光、まずは島原城へ。鎧を身にまとい写真を撮ったり、せっかくだからと「ふうふう」言いながら、天守閣まで上り、高い位置から見える町の風景を眺めている方もいました。その後は雲仙普賢岳の噴火(平成新山)について、体験しながら学べる「火山体験ミュージアム がまだすドーム」へ。大迫力のドーム型スクリーンで火山流・土石流の疑似体験をしたり、歌舞伎の手法を取り入れた島原大変劇場にて、寛政4年の噴火について学ぶことができました。

あっという間の2日間でしたが、おいしい物を食べ、温泉につかり、観光や学習もでき、楽しい思い出ができました。



仁風園祭



天候に恵まれた10月15日 土曜日に平成28年度仁風園祭をおこないました。今年も昨年に引き続き、大野城市市長 井本宗司様にご臨席を賜りました！

開会の挨拶と同時に『志免飛龍太鼓』の皆様にも勢いのある演奏を昨年に引き続き、ご披露頂きました。毎年参加して頂いていますが、昨年よりもまた一回り大きくなった子供さん達の演奏は本当に見事でした。

太鼓に引き続いて今年は乙金東区で活躍しているコーラスグループ『ひまわり』のメンバーさん達による合唱。日頃の練習の成果を発揮して頂きました。

午後の部は、こちらも例年ご参加頂いている『日向ひょっとこ踊り博多愛好会』の皆様のお踊りで始まりました。今年は職員や利用者の飛び入り参加も多く、不思議な盛り上がりでした。

続いて、『福岡大学学術文化部会 落語研究部』のお二人による落語披露。初めての落語に多少緊張していらっしまったようにも見えました。

出し物の後には利用者や来園者全員参加の『じゃんけんゲーム』 まず、施設長VS主任どちらが勝つのかを予想。見事 勝者を当てたメンバーでじゃんけんをして、最強の勝者を決定。一方、予想の外れたメンバーは、初戦敗退となってしまった施設長とじゃんけんを繰り返して最弱王を争いました。

参加したメンバーで一番力が入っていたのは負けてしまった施設長ではなかったでしょうか？

その後は、毎年お馴染みのビンゴ大会。今年はなかなかリーチがかからないという声が多かったようでしたが、たくさんの商品が準備され、例年よりも当たった方が多かったのでは??

外部露店では『みぎわ工房』様、『はまゆうワークセンター』様、『まどか・ゆいばる』様の3団体にご協力頂きました。たくさんのお菓子やお肉まんをご準備頂いておりましたが、閉会前には売り切れてしまう程の大盛況でした。

その他、就労継続支援A型作業所『kimika』からはリラクゼーションとして、マッサージを実施して頂きました。利用されたからは「気持ち良かった〜！」という言葉が聞かれました。仁風園主催の露店は、大人にとっても懐かしい射的！誰よりも良い景品を狙おうと大人から子供まで張り切っている姿が見られました。

園でのお祭り形式になってから回を重ねるごとに来園して下さる方々も増えてきている様で、大変嬉しく思っております。今後も皆さんに楽しんで頂ける仁風園祭にしていきたいと思っております。



乙金東区運動会

10月2日に大野城市の東コミュニティセンターで開催された「乙金東区運動会」に今年も参加させて頂きました。仁風園からは10名の利用者さんが参加され、パン食い競争や玉入れに出場しました。

玉入れでは、なかなかカゴに玉が入らず大苦戦でしたが、選手の皆さんは最後まで諦めずに一生懸命玉を投げ入れていました。結果は借しくも敗退となりましたが、皆さん笑顔で達成感を感じているようでした。

今年も乙金東区の皆さんのおかげで、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



東地区コミュニティ文化祭

仁風園のある大野城市乙金東区にて、毎年恒例の「東地区コミュニティ文化祭」が開催されました。仁風園からは書道作品の展示と野菜販売、雑貨などのバザーを行いました。

地区の皆さんの素敵な作品の数々を見学し、パンやお菓子の販売コーナーでは買い物を楽しみました。

仁風園の販売コーナーでは利用者さん4名が販売員を担当し、お客さんに上手に商品を勧めてくれていました。



苦情解決制度

福祉サービスには苦情解決制度があります。仁風園においても、苦情・要望受付者を職員全員として、苦情・要望を随時受け付けております。受け付けた苦情・要望は苦情解決委員会で対応を検討した後、申出者へ回答、改善の実施をしています。

下記の表は平成27年度の集計結果です。「表1」が苦情の集計、「表2」が要望の集計となっています。

表1 平成27年度 苦情集計表

分類	職員対応の不備	食事	看護サービス	生活支援プログラム	居住空間環境	利用者間の関係	制度関係	外部地域等	合計
苦情	3	0	0	0	0	0	0	0	3

苦情の事例：行事の際、昼食バイキングの食べ過ぎを皆の前で大声で職員に怒られて傷ついた

分類：職員対応の不備

対応：指導の内容は正当であったが、衆人環視での指導は申出者の感情を傷つけてしまった。職員の配慮不足の面もあったとして、該当職員が申出者に謝罪。職員全体で指導する際の配慮について話し合う。（場所を移して1対1で指導する等）

表2 平成27年度 要望集計表

分類	食事	看護サービス	生活支援プログラム	居住空間環境	利用者間の関係	制度関係	その他	合計
要望	1	0	2	11	29	0	0	43

要望の事例：隣室の利用者の物音が深夜から早朝にかけてうるさい。注意して欲しい。

分類：利用者間の関係

対応：宿直職員にて、該当利用者の深夜から早朝にかけての物音の事実確認を実施。結果、深夜の物音は寝返りの際、壁に肘が当たる事で隣室に響いている事が確認される。早朝は宙に向かって正拳突きをしていた事が判明。深夜に関しては申出者に事情を説明し、理解を得る。該当利用者には朝の正拳突きの物音が隣室の迷惑になっている事を伝えて、早朝に居室では行わないよう依頼。しばらく様子を見る事となる。

編集後記

今回の秋号では仁風園の秋の行事をご紹介させて頂きました。いずれの行事も地域住民の皆さんや福祉事業所にご協力を頂いたおかげで、無事に実施することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

また、仁風園の行事は利用者さんに楽しんで頂くのはもちろんですが、地域の方々と交流を深める場でもあります。行事を通して地域の方々に救護施設やそこで暮らす利用者さんのことを知って頂き、交流を深めていきたいと考えています。

今後も地域との交流や地域に貢献できる取り組みを積極的に行なっていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

写真掲載にあたりましては利用者の了承を得て掲載しております。



社会福祉法人

仁風会
救護施設 仁風園

〒816-0901 福岡県大野城市乙金東2丁目26-5
TEL 092-503-2004 FAX 092-503-2766
<http://www.otogane.or.jp/jinpu/index.html>